

エルビック  
「LPIC」って  
就職・転職に有利なの？

これからのITエンジニアに期待される技術、Linux。LPICはこのLinux技術力の判断基準として国際的に認められている資格です。日本でも、多くの企業や教育機関、団体が取り入れ、資格認定者に大きな期待をしています。LPICを取得することで、自分のLinux技術力を就職先や転職先などにアピールすることができます。

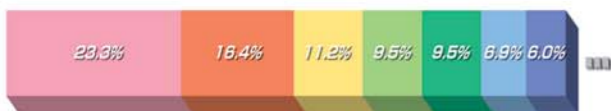
LPI-Japanのプラチナスポンサーをはじめ、多くの企業がLPICを推奨資格に取り入れています。



\*社名ロゴ(アルファベット順)は、各社の商標・登録商標です。

「最もキャリアアップ(昇給や転職など)につながった資格」でLPICがNo.1

出典：ITエンジニア・スキル調査2012「ITエンジニアが選ぶ実務/キャリアアップに役立つ資格ランキング」(©IT自分戦略研究所 調べ)



N=116

- LPIC (Linuxプロフェッショナル認定)
- PMI PMP
- .com Master (インターネット検定)
- ITIL認定資格
- Javaプログラミング能力認定
- UMLモデリング技能認定
- 情報処理技術者能力検定



資格という自信が、  
女性をもっと美しくする。

手に職を。知識に職を。  
Linux技術者認定試験 LPIC



「最もキャリアアップにつながった資格」No.1

「最も実務で生かされた資格」No.1

「今後取得したい資格」7年連続No.1

出典：ITエンジニア・スキル調査2012「ITエンジニアが選ぶ実務/キャリアアップに役立つ資格ランキング」(©IT自分戦略研究所 調べ)

全世界共通のLinux技術者認定試験

**LPIC**

Linux Professional Institute Certification



バブルも知らないが、  
不景気も知らない。

景気に左右されない資格を。  
Linux技術者認定試験 LPIC



「最もキャリアアップにつながった資格」No.1

「最も実務で生かされた資格」No.1

「今後取得したい資格」7年連続No.1

出典：ITエンジニア・スキル調査2012「ITエンジニアが選ぶ実務/キャリアアップに役立つ資格ランキング」(©IT自分戦略研究所 調べ)

全世界共通のLinux技術者認定試験

**LPIC**

Linux Professional Institute Certification

エルビック  
「LPIC」って  
どんな資格なの？

Linuxのスキルを中立公正に判定する、全世界共通、世界最大規模の技術者認定試験です。受験者数も年々飛躍的な伸びをみせ、“今後取得を目指す資格、7年連続1位”として、いま、ITエンジニアを志す人たちにもっとも注目されています。

Linuxとは？

Linuxとは、Webサーバ、メールサーバなどの業務システムから、スマートフォン、携帯電話、ゲーム機などの家電製品に至るまで、最も多く使われているオープンソースのOS(オペレーティングシステム)です。誰でも無料で入手でき、全世界の技術者が集まるコミュニティによって開発、改良されるというオープン性をもつことで、人気を集めています。

近年では、日本の大手ベンダーはもちろんのこと、Webサービスで成功している企業でLinuxを使っていない企業はありません。LinuxはITの世界では無くてはならない存在であり、Linuxエンジニアの活躍の場はますます広がっています。

GLOBAL

LPICは世界150カ国以上で実施されている国際的な認定制度です。

STANDARD

LPICは世界最大のLinux技術者受験者数を有する世界共通基準の認定制度です。

NEUTRAL

LPICはLinuxの技術力を中立公正に判定する認定制度です。



# 認定者の声を きかせてください!

実際に資格を取った人たちから寄せられた、「LPICを取得してよかった!」というコメントをご紹介します。



**「会社にも顧客にも業務での信頼度が高まった」**  
LPICを取得したことで、技術レベルを顧客にも上司にもPRしやすくなりました。Linux構築案件を任せられるようになったのは、スキルが客観的に証明できたからだと思います。



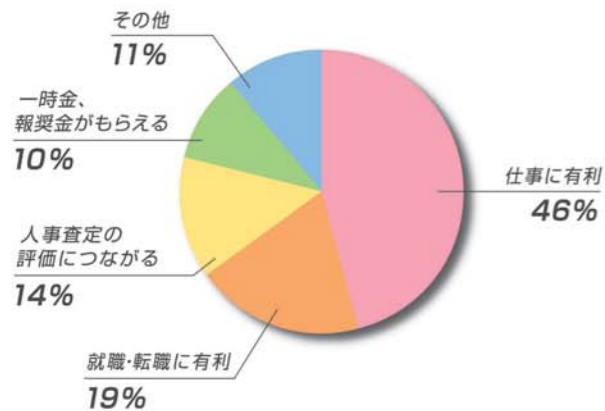
**「Linuxの知識がある営業担当として評価が高まった」**  
営業担当ですが、LPIC取得によりLinuxの一般的知識が身につく、顧客からの信頼度アップや技術担当とのコミュニケーションにも役立っています。



**「保有資格としてLPIC取得が、転職につながった」**  
履歴書に書いたLPIC取得が役立ちました。Linuxの業務経験はなかったのですが、今の会社に転職できたのは、Linuxの知識があると評価されたからです。

## LPIC認定者は、仕事にも就職・転職にも有利と感じています

LPI-Japan 調べ



# ところで、 どんな認定制度なの?

LPICは3段階のレベルを設け、順次ステップアップしていく構成となっています。

- レベル1**  
Linuxの基本的な操作とシステム管理が行えるエンジニアとして活躍できます。Linuxサーバ環境の構築・運用・保守をするための基本的な操作ができることを証明できます。
- レベル2**  
Linuxによるシステム構築、ネットワーク構築が行えるエンジニアとして活躍できます。Linuxシステムの企画、導入、維持、トラブルシューティングができることを証明できます。
- レベル3**  
Linux、Windows、UNIXなどの混合環境や、高負荷に耐えうる大規模システムの構築・運用ができるエンジニア、高度なセキュリティ技術をもつエンジニア、仮想化システムや高可用性システムを構築できるエンジニアであることを証明できます。

試験範囲については、LPI-Japanのホームページに掲載されている「試験と資格の種類」を参照してください。

<http://www.lpi.or.jp/guide/level.shtml>



## LPIC受験者はこんな仕事をしています

<受験者の職種別割合> LPI-Japan 調べ

情報システム保守・運用管理	30%	研修企画・インストラクター	2%
ソフトウェア企画・設計・開発	27%	ハードウェア企画・設計・開発	2%
コンピュータシステム企画・設計・開発	19%	その他	11%
その他技能職	9%		

# 受験までの準備と 認定までの流れについて教えて!

LPI-IDを取得すれば、いつでもオンラインで受験予約が可能になり、日時や会場を自由に選択することができます。

## 受験までの準備と認定まで



学習方法を  
確認する

- メールマガジンで情報を収集する  
**LPICメルマガ** 検索
- LPI-Japan主催の技術解説無料セミナーに参加する  
**LPIイベント** 検索
- LPI-Japanアカデミック認定校で学習する  
**アカデミック認定校** 検索
- 本で学習する  
**LPI認定教材** 検索

<http://www.lpi.or.jp/app/registration.shtml>  
**LPI-IDを取得します。**

- ・受験履歴や認定証送付先などの登録内容の確認ができます。
- ・初回に取得したLPI-IDを2回目以降も引き続き使用できます。

**以下のサイトで受験を予約します。**  
(受験予約の際は取得したLPI-IDの入力が必要になります。)

**ピアソンVUE** <http://www.pearsonvue.com/japan/> TEL:0120-355-583

- ・CBTは、全世界に多くのテスト会場をもつピアソンVUE社に配信を委託しています。
- ・CBT会場は全国に約220箇所あります。詳細は、各社にお問い合わせの上、ご確認下さい。
- ・電話からでも受験申込可能です。(受付時間: 祝祭日を除く、月～金曜日 9:00～18:00)

**CBTとは?**  
CBT(Computer Based Testing)とは試験に関係するすべてのプロセスをコンピュータ化するサービスのことで、受験者はコンピュータに表示された試験問題に、マウスやキーボードを使って解答します。試験結果は終了と同時に確認することができます。CBTを利用する受験者は、受験者の都合に合わせて、受験する場所や日時が自由に選択できます。

受験終了後、その場で合否を判定します。認定取得者には、「認定通知メール」が送信され、認定を受けた日から、約1ヶ月後に認定証と認定カードが送付されます。



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

エルピーアイジャパン(LPI-Japan)事務局  
<http://www.lpi.or.jp/> E-Mail: info@lpi.or.jp  
 Tel: 03-3568-4482 Fax: 03-3568-4483

